

2025年8月28日

報道機関 各位

## 長崎大学 クラウドファンディング プロジェクト 「心電図の波形に映る、命のシグナル。 見逃さない力を全国の救急現場に。」

長崎大学病院 高度救命救急センターでは、重篤な胸痛患者に対応する救急隊員向けに、12誘導心電図の判読講習を実施し、“地域で命を守る循環”をつくるために、以下のとおりクラウドファンディングを開始します。



- ・タイトル「心電図の波形に映る、命のシグナル。見逃さない力を全国の救急現場に。」
- ・URL : [https://readyfor.jp/projects/nagasaki\\_acs](https://readyfor.jp/projects/nagasaki_acs)  
※当該 HP は 9/1 (月) 9 時にオープンします
- ・目標金額 : 450 万円
- ・募集期間 : 2025 年 9 月 1 日 (月) 9 時~10 月 30 日 (木) 23 時 59 日間
- ・資金使途 : 救急隊員向け心電図講習会の開催に伴う会場費、交通費および諸経費
- ・クラウドファンディングプラットフォーム : READYFOR



救急救命士は、重症救急疾患に対して 24 時間 365 日迅速で高度な救急医療が求められます。**急性心筋梗塞を始めとする急性冠症候群は、現場や搬送中から時間短縮が求められ、さらに心電図判読力が極めて重要です。**本講習会を通じて救急隊員のスキルを高め、適切な対応や搬送が可能となれば、地域全体で胸痛患者対応が円滑になり、急性冠症候群 (ACS) の予後改善が期待できます。このプロジェクトは、単なる教育活動にとどまらず、**地域の命を守る「循環」を作り出すことを目指しています。**

【高度救命救急センター 講師 井山 慶大先生のコメント】

患者さんに最初に接触する救急救命士は、救急現場や搬送中の車内で、病院に着く前に命を左右する判断が求められます。特に、急性心筋梗塞などの重篤な胸痛患者さんの対応においては「12誘導心電図」という詳しい心電図検査を早期に実施・判読することが不可欠です。

私たちプロジェクトチームは、メンバーが力を合わせ、教育活動を通じて、命を救うスキルの向上を目指しています。より多くの救急隊員に参加いただき、心疾患での救急搬送をより早く対処できるシステムを構築していきたいと思い、このプロジェクトを開始しました。

※注意・お願い※

・本クラウドファンディングのHPの公開は9月1日（月）9時となっておりますので、報道は当該時間後にしていただくか、HP公開前に報道いただく場合には、記事等の中で「9月1日（月）9時より、～」と明確に記載いただくようお願い申し上げます。

・取材を希望する報道機関は、下記宛にご連絡ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学ディベロップメントオフィス クラウドファンディング担当

電話番号：095-819-2155

E-mail：[nukikin@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:nukikin@ml.nagasaki-u.ac.jp)